



湖月抄

うゑい舟





石渠文庫



浮舟

孟 孟の君奇とてそれと号せし傳のうごまを  
とらふとてい浮舟とていづらねぬ 細 北の葉は月  
より三月末よりこのころに 孟に 花鳥の年相遠より東  
屋のきへたぬ葉は九月までのもやせ

あるをの月のかりり

花白のユ素院の對して

浮舟とていふまゝ

細のつよ

ひ一初末とせり

あつらひ

お白のぬえと

女君とていふ

とていふ 細 惟人の

よのねは

らり

の心より

あつらひ

あつらひ

細葉の浮舟とていふ

あつらひ

あつらひ

あるをの月のかりり

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ

あつらひ



















































くてもおれをさつさつとせられた  
あつたおれをさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた

細今うまよおれをさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた

よて おの謀思をさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた

くろくさつさつとせられた

くろくさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた

おれをさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた  
おれをさつさつとせられた















































































































































ふとあり細とし師説の細とまことなり  
さつり比 細をそとうしと前ととり花日本紀云大山守皇子陸奥道河  
而渡舟去りるよりうららの舟りよ輝よりよとるらん人いもこふせ人 孟入及前太府ハ  
は奇しき事なりとて

うららて人らうんよ  
おまると句のるよまよ  
くさうやあまんよな  
くさうていあをたんと  
且の中らうん一命  
していそあひ結す地  
と

いんぐまよりいあり  
あゆくもまらりどなりあはれ  
あすくわらうんよまらり  
そのおれおのてんとすうとさうくまよ  
さうりあもあうり  
あまられど  
うららあひあり  
つぐとあひ  
いんぐまよりいあり

あまの師 あまの  
て母のうららあひ  
とてり双紙  
人びらあひ  
細末人海さんよつて  
人びらあひ  
人びらあひ  
と

あまの師 あまの  
て母のうららあひ  
とてり双紙  
人びらあひ  
細末人海さんよつて  
人びらあひ  
人びらあひ  
と

とまをまらうんよ  
あまの師 あまの  
て母のうららあひ  
とてり双紙  
人びらあひ  
細末人海さんよつて  
人びらあひ  
人びらあひ  
と



























































あつたすくすくしてやれ  
とてうらぐらぐらとく  
らりよりのうらぐら  
と孟也にうらぐらに  
暮の一也とく 本文未  
のあつたすくすく  
白文をうらぐらとへ  
用とくくくくくく  
またのうらぐらと  
くくくくくくく  
細浮舟のうらぐらと  
くくくくくくく  
三白のうらぐらと  
くくくくくくく

あつたすくすくしてやれ  
とてうらぐらぐらとく  
らりよりのうらぐら  
と孟也にうらぐらに  
暮の一也とく 本文未  
のあつたすくすく  
白文をうらぐらとへ  
用とくくくくくく  
またのうらぐらと  
くくくくくくく  
細浮舟のうらぐらと  
くくくくくくく  
三白のうらぐらと  
くくくくくくく

あつたすくすくしてやれ  
とてうらぐらぐらとく  
らりよりのうらぐら  
と孟也にうらぐらに  
暮の一也とく 本文未  
のあつたすくすく  
白文をうらぐらとへ  
用とくくくくくく  
またのうらぐらと  
くくくくくくく  
細浮舟のうらぐらと  
くくくくくくく  
三白のうらぐらと  
くくくくくくく

あつたすくすくしてやれ  
とてうらぐらぐらとく  
らりよりのうらぐら  
と孟也にうらぐらに  
暮の一也とく 本文未  
のあつたすくすく  
白文をうらぐらとへ  
用とくくくくくく  
またのうらぐらと  
くくくくくくく  
細浮舟のうらぐらと  
くくくくくくく  
三白のうらぐらと  
くくくくくくく

あつたすくすくしてやれ  
とてうらぐらぐらとく  
らりよりのうらぐら  
と孟也にうらぐらに  
暮の一也とく 本文未  
のあつたすくすく  
白文をうらぐらとへ  
用とくくくくくく  
またのうらぐらと  
くくくくくくく  
細浮舟のうらぐらと  
くくくくくくく  
三白のうらぐらと  
くくくくくくく



つんまのあつちうく  
わりうくくこのこ  
よ自まのたまよ

の人のあつちうく  
まのうくくまのうく  
舟よつひまのうく  
もそれまのうく  
りりまのうく  
ひまのうく

ひまのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく

まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく

まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく

つんまのあつちうく

わりうくくこのこ  
よ自まのたまよ

の人のあつちうく  
まのうくくまのうく  
舟よつひまのうく  
もそれまのうく  
りりまのうく  
ひまのうく

ひまのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく

まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく

まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく

まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく  
まのうく































